

私たちは

リハビリテーション専門職

作業療法士です



私たちの生活は、日常生活における身の回りのことができるだけでなく、趣味、生きがい、社会参加などその人にとって

「意味のある、したいこと」を日々の生活の中で続け、その行為から満足感や充実感を得ることで、元気に充実した生活を送ることができています。

老化や障がいを持ちながらも、心身ともに充実した生活を送るためには、「私のしたいこと」を自分自身で決め、それを実行に移せることがとても重要です。



作業療法士は

- 疾病や老化・認知症・小児期の発達などによる生活機能の障がいをもたれる方が、生き生きとした暮らしを送ることができるよう、医療・介護・福祉の領域で支援します。
- その人が「生活するうえで困っていることや問題を感じていること」で、「やってみたい!!」「もっとうまくできるようになりたい!!」と思う生活行為を再びできるように支援します。

まかせて
ください!

い生き活きた



私の介護予防事業支援

介護老人保健施設 気仙苑
気仙地域リハビリテーション広域支援センター
戸羽 真広

私は介護老人保健施設兼気仙地域リハビリテーション広域支援センターの作業療法士として2市1町の介護予防事業を担当させて頂いています。

国は介護保険の持続可能性を高める為に自助、互助、共助、公助の考えの基、新たな介護予防の取り組みを開始しました。地域支援事業の一つである、総合事業の介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業内でリハビリテーション専門職の地域参画を促す制度も整ってきました。

私が関わっている事業は、介護予防・生活支援サービス事業の通所C相当の事業と一般介護予防の地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業です。

各事業の中での主な役割は、事業企画・提案、運動・認知機能の評価、体操・運動指導、活動・参加の提案、ADL・IADLへの提案です。市町村及び地域包括支援センター職員との顔の見える関係構築とその継続を第一に活動しています。また、リハビリテーション三職種（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）其々の強みをお伝えし、より効果的に私たちを活用して頂けるよう啓発活動も大切にしています。一方、住民のみなさんに対しては、個性に配慮しながら、個々の生活における困りごと、要望に出来る限り耳を傾け、常に笑顔で地域に溶け込むことを意識しています。「現場を知る」ことは地域ケア会議や介護予防事業の企画会議等での発言の質と協働の円滑性を高める事に繋がると確信しています。私自身、経験が浅く日々トライ＆エラーの繰り返しですが、地域のために貢献できる作業療法士であり続ける為に今後も多くの方々との出会いを大切に、地域と共に歩み続けたいと考えています。



作業療法士会の認知症への取り組み

中津川病院 工藤 克行

昨今、少子高齢化が進む中で認知症は社会全体の問題として取り上げられています。2012年は認知症高齢者数が462万人と、65歳以上の高齢者の約7人に1人の割合でしたが、2025年には約5人に1人になると言われています。

認知症はだれしもなり得る身近な病気です。認知症になっても持てる力を発揮して自分らしい生活がおくれるように、そして誰もが安心して暮らせる町づくりの一旦を担えるように生活行為、活動、環境のスペシャリストである作業療法士のニーズは益々高くなると感じています。そのため岩手県作業療法士会では、2013年度より病院や施設外での地域での取り組みを念頭に今後の認知症への対策に向けて部門を設置して取り組んでいます。

〈具体的な取り組みについて〉

①会員のスキルアップ

いろいろな方面で認知症について取り組んでいる多職種の方や作業療法士を講師に招いて認知症の研修を開催し、認知症に関する最新の情報の提供をして分野に関係なく期待される役割に応えられる作業療法士を養成することを目的として実施しています。

②地域での認知症啓発活動

行政や他団体との協業で介護予防事業や認知症の啓蒙啓発活動を通じて作業療法士の得意な生活の視点での認知症の人への接し方や、住環境の工夫、介護アドバイスを実施しています。

〈今後について〉

病になり障がいを負うと多くの人は「自分の生き方」を見失います。そして医療保険、介護保険だけでは認知症の人やその介護家族の方々を支援しきれていない多くの問題があります。

私は作業療法には、作業療法が認知症と出会うと、いろいろなアイデアの中から「認知症になってもまだまだやりたい事はできるんだ!」という希望を創り出せる、そんな役目が求められているように感じます。そして行政や多職種、他団体の方々との連携を図り、認知症になっても活躍できる場、安心して暮らせる地域づくりに、今以上に作業療法士が貢献できるように努めていきたいと思えます。



地域づくり



地域ケア会議に参加して

介護老人保健施設たきざわ 林 清子

厚生労働省は2025年を目途に、高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進しています。その基盤作りと、高齢者個人の支援の充実を図るための手法が「地域ケア会議」です。

2018年度、県内では13市町村、19カ所の地域ケア会議に作業療法士が出席しています。

地域ケア会議の中で作業療法士に求められる役割は、その主催する地域包括支援センターによって様々ですが、個別事例を検討する会議では主に、認知・精神機能について、食事・排泄などの応用的動作能力や地域活動・就労など社会的適応能力について、福祉用具や住宅改修など環境調整についての助言が期待されています。

私は2015年度から、職場がある自治体の地域ケア会議に出席しています。その経験から、自立支援に関する規範的統合や多職種連携の重要性を感じると共に、作業療法士として地域のために行動する必要性を痛感しています。

私たちの多くは今まで、病院や施設という限られた環境や期間の中で、対象者に1対1での支援を行ってきました。しかしこれからは、1対集団、1対環境など、専門職として社会全体を捉え包括的な視点で貢献することも必要になります。

対象者への日々の作業療法を丁寧に行いながら、その方が住まう地域が暮らしやすい場所となるよう行動していきたいと思います。



作業療法士の ICT (情報通信技術) 支援

たぐち脳神経外科クリニック 藤村 秀之

スマートフォン・パソコン・携帯電話などの ICT は、私達にとって必要不可欠な道具となっております。これは高齢者・障がい者も同様で、ICT 利用率は増加傾向となっております。

私は岩手県立視聴覚障がい情報センターの依頼にて「障がい者パソコンサポーター」「サポーターを養成する講師」を作業療法士として担当しております。

依頼内容は、「手が震えるなどの障がいでもマウスやキーボードを押せない」「画面が見にくい・見えない」など。加齢や障がいにより出来なくなった操作に対して、その方の状況を評価し、適した設定変更・姿勢・操作方法の指導・情報提供などを行い支援いたします。

依頼者からは「ただパソコンの設定変更を支援してもらいより、作業療法士は身体の状態・体力を理解し支援するから安心だ」「障がいの進行やアフターケアも考えてくれて助かる」という声が多くあります。

ICTの専門的知識はエンジニアなどの専門員と連携を図り、依頼者を支える家族へもリスク等（ネット犯罪等にあわないか）を含め情報交換をしております。

ネット宅配サービスを利用し食材を購入することができ自分で調理することができた（50代女性）、町内会の会報を作ることができた（70代男性）、遠方の孫へ撮影した写真を送信し、孫の写真を受信閲覧できた（90代女性）、「生きがい」や「役割」を取り戻したケースがあります。

その他、神経難病など重度障がい者へは「意思伝達装置」を利用し、残存している機能を活かしコミュニケーションを図れるように支援しております。

日々新たな技術が生まれ、既存の技術も凄まじいスピードでアップデートされる最先端の IT テクノロジー。AI（人工知能）、自動運転、音声操作などますます便利な世の中になっていくと思われます。

作業療法士は時代に適した支援を行い、対象者の「生きがい」「役割」を取り戻せるよう ICT 支援も行います。



一般社団法人 岩手県作業療法士会 活動

私たち、岩手県作業療法士会は、岩手県内に勤務する作業療法士 約750名で組織する団体です。岩手にお住まいの方々が健康で豊かな暮らしができるよう、リハビリテーション専門職の役割で、地域社会を支えます。

技術と知識のレベルアップのための学会・研修会

- 研究報告・対象者への作業療法士の取組みを発表する学会
- 医療・介護に従事するリハビリテーション専門職としてのスキルアップ
- 基礎から専門分野までを学ぶ研修会
- 生活行為向上マネジメントの推進
- 認知症へのサポートとリハビリテーションの推進



保健医療福祉専門職との 多職種連携研修会

- 対象者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための研修会
- 看護師・保健師・ケアマネジャー他、生活の支援者同士が顔の見える連携を作るための意見交換

中学校や高校での学校訪問講座

- 障がいをもたれた方の“生きる”を支える作業療法士の仕事の講話
- 医療福祉、障がい者や高齢者の理解を深めるための授業
- 進路相談や職業ガイダンス



市町村主催の介護予防事業・ 家族向け介護講習会

- 在宅介護をされている介護者向けの講習会
- 地域包括支援センター等で運営する介護予防事業
- 安全安心な在宅生活を過ごすための工夫・環境整備
- 介護専門職向けの研修会

私たちは、中学校・高校での社会教育、県内各市町村のまちづくり事業のお手伝いをさせていただきます。

- 中学生・高校生向けの職業や進路ガイダンス、障がい者・高齢者福祉に関する授業・講座
- 市町村・地域包括支援センターでの介護予防・認知症予防・家族や介護者向けの各種事業
- その他、作業療法・リハビリテーションに関するご要望に広く対応



一般社団法人 岩手県作業療法士会
Iwate Association of Occupational Therapists

【事務局】〒020-0503 岩手県岩手郡雫石町七ツ森16-243 いわてリハビリテーションセンター作業療法科内

<http://iwate-ot.or.jp/>

岩手県作業療法士会

検索



2019年4月